

郷土埼玉の偉人

〜新一万冊札に描かれた実業家・渋沢栄一〜

【開催日時】 令和6年12月18日(水) 13:30～15:00

【開催場所】 北本市文化センター 第3会議室

【講師】 今井 博昭氏(作家)

※参加希望者は、**12月8日(日)**までに花形宛連絡をお願いします。hana1945hana@outlook.jp

【渋沢栄一とは】

郷土埼玉の偉人「渋沢栄一」は、天保11年(1840)2月13日、武蔵国榛沢郡血洗島村(現深谷市)に生まれた。その生涯は、4年前のNHK大河ドラマ「青天を衝け」でご記憶と思う。第一国立銀行をはじめ500社を超える企業の創立・発展に寄与し、経済団体を組織し、商業学校を創設するなど実業界の社会的地位向上に努めた。また、社会公共事業や国際親善活動に尽力し、傑出した業績を残し、新たな産業育成と言った面からも日本の近代化をリードした人物である。我々がより良い社会生活をする上で渋沢栄一思想・哲学は多いに参考になるところです。

講師:今井 博昭氏プロフィール

1951年和歌山県橋本市生まれ。関西大学法学部を卒業し東京・品川区の書店でアルバイトをする。その後、埼玉県庁に入庁して、主に福祉、労働、商工分野に携わり、2016年に退職。北本市在住。

《著書》

『歴史に隠れた大商人 清水卯三郎』(幻冬舎ルネッサンス) /2014年)

『渋沢栄一「日本近代資本主義の父」の生涯』(幻冬舎新書 /2019年)

『清水卯三郎 文明開化の多彩な先駆者』(さきたま出版会 /2022年)

